### 【洪水・土砂災害ハザードマップの見方】

#### 1.トップ画面

左から、①レイヤ情報、②凡例、③ハザードマップ

トップ画面の基本設定では、指定緊急避難場所、賀茂川の計画規模(10~100年に1回程度の降雨)浸水 想定区域(浸水深)、土石流の情報が表示されるように、設定されています。



#### 【①レイヤ情報】

確認したい項目の□チェックボックスに☑を入れると、その情報が③ハザードマップに反映されます。 【②凡例】

①レイヤ情報の□チェックボックスに▽を入れると、その項目に対しての説明が表示されます。

#### 【③ハザードマップ】

①レイヤ情報で図を入れたものについて、③ハザードマップに反映されます。

### <u>2. 画面の拡大</u>

ハザードマップの地図上でスクロールすると、地図を拡大、縮小することができます。



# <u>3. 浸水深の確認</u>



浸水深の色がついた場所でマウスを確認したい箇所に当てると、その地点(赤点)での浸水深を確認できます。 この場合、賀茂川の計画規模降雨(10~100年に1回程度の降雨)を想定した場合、この地点では1.5m浸水す る可能性があるということを表しています。

### 4. 想定最大規模への切り替え方

レイヤ情報内の賀茂川⇒想定最大規模浸水想定区域⇒浸水想定区域(浸水深)に → チェックを入れると、想 定最大規模(1000年に1回程度の降雨)へ切り替えることができます。



# <u>5. 土石流の確認</u>



青色に塗られた部分は、土砂災害警戒区域。赤色に塗られた部分は土砂災害特別警戒区域です。 このエリア内に住家があると、土砂に巻き込まれる危険性があります。

# <u>6. 地図の切り替え</u>

右上の赤枠で囲った部分をクリックし地図を選択すると、選択した地図に切り替えることができます。



